

## 地元報告会の実施について

### 1. 目的

知床世界自然遺産地域科学委員会の取組や保全管理上の課題・対策を広く地元で紹介するとともに、科学委員会委員と地元住民との交流、意見交換を目的とする。平成23年度は野外における講座も企画し、知床世界自然遺産の保全管理にも興味関心を持ってもらうことを目指す。

### 2. 実施主体

主催：知床世界自然遺産委員会事務局（環境省・林野庁・北海道）

協力：斜里町、羅臼町

### 3. タイトル（仮）

自然遺産しれとこ「科学教室」

### 4. 平成23年度のプログラム（案）

回	講師	内容など
1	桜井泰憲 （海域 WG 座長） 牧野光琢 （海域 WG 委員）	<b>開催日時</b> ：7月25日（月）※参考資料2 <b>内 容</b> ：根室海峡においてスケソ漁獲量が低迷している理由などについて、現在科学的に判っていることなどを、主に地元漁師や漁協職員などを対象として講演していただく。
2	石川幸男 （エゾシカ・陸上生態系 WG 委員）	<b>開催日時</b> ：8月中旬 <b>内 容</b> ：100㎡運動地での植生への被害状況や、100㎡運動の取組等について講演していただき、岩尾別～幌別地区でのエゾシカ対策の必要性を地域に理解してもらう講座とする。100㎡専門家委員会にあわせて開催するか、もしくは10月ごろに別途開催する。
3	中村太士 （河川工作物 AP 座長）	<b>開催日時</b> ：9月下旬～10月中旬（先生の希望により調整） <b>内 容</b> ：河川工作物の改良が終了した河川の現場にて、河川環境やサケ科魚類の遡上状況等がどのように変わったかなどについて、講演していただく。具体的な河川については、中村先生よりアドバイスをいただいて決定することを想定。



# しれとこ「科学教室」 第1回

知床世界自然遺産の保護管理のために、専門家による「科学委員会」が設置されています。

しれとこ「科学教室」(全3回を予定)では、科学委員会のメンバーが、知床の現状や取組みについて紹介します。

## 第1部 16:00～17:00

### 「根室海峡のスケソ漁

～これまで、今、そしてこれから～

さくらい やすのり  
桜井 泰憲



～お話しの内容～

日本周辺の主要魚類の資源動向はどうなっており、どうなっていくの？

これは、漁業に携わる方であれば、誰しも気になるところでしょう。しかし、日本周辺だけを見ていたのでは、見えてこないものがたくさんあります。そこで今回の「科学教室」では、オホーツク海・ベーリング海の海洋環境の変化と、それにともなう魚類資源の動向などについてもお話しします。

～プロフィール～

海洋生態学を専門とし、イカ類・タラ類の再生産機構に関する研究では水産海洋学会宇田賞、日本水産学会進歩賞を受賞。科学委員会の委員および同委員会海域ワーキング・グループ座長を務める。



## 第2部 17:00～17:30

### 「地球温暖化と知床の水産業」

まきの みつたく  
牧野 光琢

～お話しの内容～

今や、地球温暖化という言葉はすっかり定着してしまいました。

温暖化が進むと、スケトウダラなどの重要水産資源や地域社会にどのような影響がでるのでしょうか？

最新の研究成果をお話しし、いま私たちがすべきことについて議論したいと思います。

～プロフィール～

現在(独)水産総合研究センター中央水産研究所漁業管理グループ長。科学委員会海域ワーキング・グループ特別委員、IUCN 生態系管理委員会漁業専門家グループ委員、北海道大学客員准教授などを務める。

## 第3部 17:30～18:00 質疑応答・意見交換

日時：7月25日(月) 16:00～18:00

場所：羅臼漁業協同組合 2階会議室 (羅臼町船見町)

**参加無料！どなたでもご参加いただけます。**